

弥富市事務事業評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	12	1	事務事業名	交通安全啓発事業		細事務事業名	交通安全啓発事業		公的関与	2	シート作成日	平成29年6月12日					
	課名	危機管理課		グループ	交通防犯		担当課長名	伊藤 淳人		シート作成者名	田中 佑樹							
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託							
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等							
	総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ				実施計画		事業の開始・終了									
		施策項目	防犯・交通安全の充実				<input type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成		年度		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策	交通安全に関する啓発等の推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		弥富市交通安全条例							
	個別計画																	
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)												
		市民				交通安全の啓発活動を行い、交通安全意識の高揚を図り、交通事故を減少させます。												
事業の内容	蟹江警察署と連携し、各季交通安全運動期間に交通安全の決起大会、キャンペーンを実施します。 市内の各団体等の代表からなる交通安全推進協議会を開催し、交通安全の推進を図ります。 交通事故防止のため、市内の危険個所にのぼりや看板を設置します。																	
成果指標	①	指標名	交通事故負傷者数						②	指標名	交通事故死者数							
		指標設定の考え方	交通事故負傷者数				単位	人		指標設定の考え方	交通事故死者数				単位	人		
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		目標平成 30 年度								
		実績	282	実績	312	目標	300	目標		300	実績	3	実績	4	目標	0	目標	0
		目標	300	目標	300	目標	300	目標		300	目標	0	目標	0	目標	0	目標	0
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	13	交通安全対策費			
			平成 27 年度決算額				平成 28 年度決算額				平成 29 年度予算額							
	直接事業費	国・県支出金																
		地方債																
		その他特定財源																
		一般財源	3,010 千円				3,001 千円				3,094 千円							
		計(A)	3,010 千円				3,001 千円				3,094 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.484 人				0.100 人				0.200 人							
		臨時職員工数・経費	3,340 千円				690 千円				1,380 千円							
		臨時職員工数・経費	0.013 人	21 千円			0.220 人	352 千円			0.220 人	352 千円						
全体事業費(A+B)		6,370 千円				4,043 千円				4,826 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	はい	いいえ		はい	いいえ	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	交通安全思想の普及及び交通事故を減少させるため、必要です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	交通安全思想の普及及び交通事故を減少させるため、有効です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		交通安全思想の普及、啓発活動を実施し、実績を上げてきたが、去年は交通事故死者数は4人です。しかしながら、この事業は、継続的に行うことが重要であり必要です。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている				
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない			<input type="radio"/>	あまり上がっていない				
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している			<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している				
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。	<input type="radio"/>	十分達成している			<input type="radio"/>	十分達成している				
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	交通安全思想の普及について、啓発行事や啓発物品の配布を適切に行っていますが、市民すべてに普及するまでには、至っていません。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	交通安全思想の普及のため併発活動を実施した。交通死亡事故は、高齢者が約半数が占めており、高齢者の安全対策を中心に継続的に事業を行い死亡事故の減少に努めなければならない。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)				
	課題解決のための改善計画	交通安全の啓発は、継続することが必要であり、警察署と連携を取り高齢者への交通安全教育等幅広く啓発活動を展開する。					高齢者の交通事故件数の増加がみられ、高齢者に対する交通安全思想の高揚を目指し、交通ルールマナーと新たな交通安全指導が必要となってきた。				
備考											